

1. 研究課題名：絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発による総合的保全研究：
車軸藻類を例に

2. 研究代表者氏名及び所属：
坂山 英俊（神戸大学大学院理学研究科）



3. 研究実施期間：平成 23～24 年度

4. 研究の趣旨・概要

車軸藻類は淡水域の透明度維持の「かなめ」となる役割を果たしている。しかし近年、急速に車軸藻類の衰退が進行している。一方、車軸藻類の種同定の難しさが種の保全や淡水生態系保全に向けた政策や研究の進展の大きな妨げとなっている。また、車軸藻類の生息域は人間活動の影響を受けやすい環境であり、生息域外での保全技術開発は必要不可欠である。

本研究では、車軸藻類の信頼性の高い十分な種情報・遺伝子情報の収集・蓄積を行い車軸藻類の多様性情報基盤を構築する。また、新規に車軸藻類の凍結保存技術を開発する。

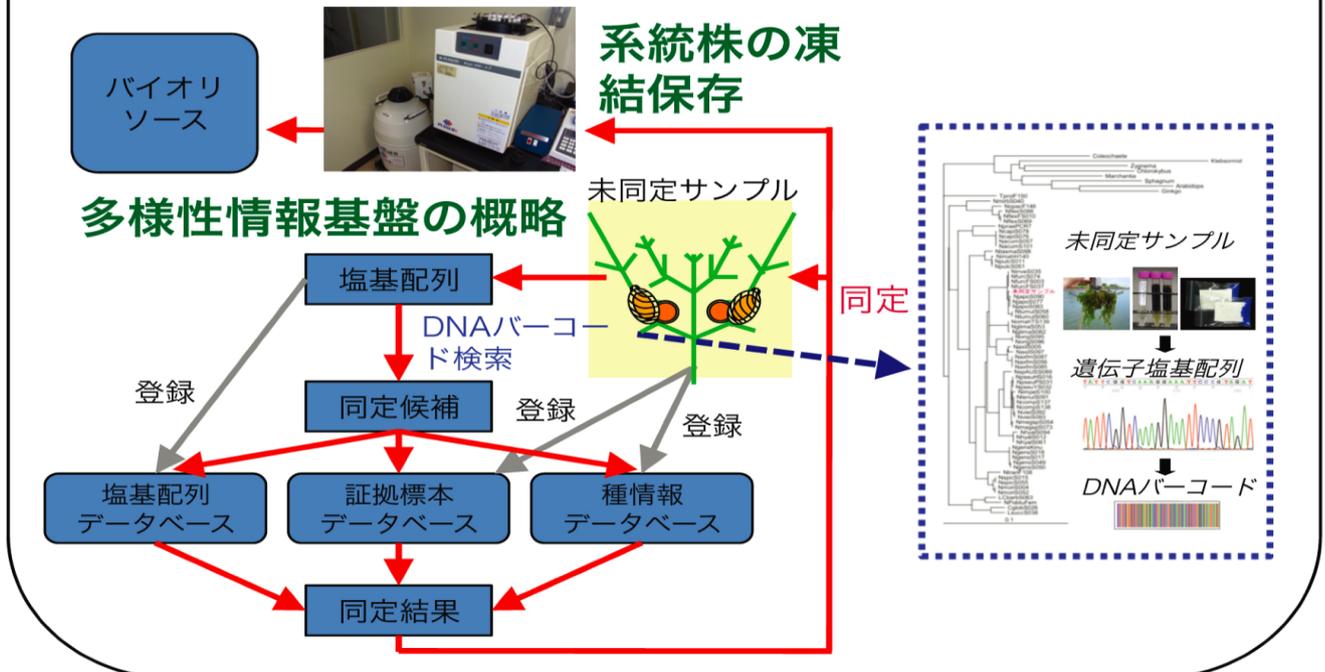
本研究で確立する車軸藻類の多様性情報基盤とバイオリソースは淡水生態系保全の環境政策へ貢献することが期待される。

5. 研究項目及び実施体制

①絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発：車軸藻類を例に（神戸大学）

6. 研究のイメージ

研究テーマ：絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発：車軸藻類を例に



多様性情報基盤を確立
種同定支援システムを供給
バイオリソースを蓄積・供給

国内・国外の
データベース
システムとの
データ共有

将来目標

有効な保全策、保護管理のための意思決定支援

環境政策、環境研究に反映
環境保全を通して国民生活へ反映